

新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.53	02	きらめけ! えびなっ子	11
今号の表紙	03	ホール・ギャラリー	12
HUGHUG子育て	04	相談	13
健診を受けましょう	07	図書館	14
市民の広場	11		

「広報えびな」の共通マークとルール

日時・日にち  期間  時間  場所  対象  定員  
 内容  講師  費用  持ち物  その他  任期  
 条件  主催  Eメール  ホームページ  問い合わせ  
 申し込み  予約制  祝日を除く  休み

高齢者対象の教室など  えびな健康マイレージ対象

市外局番…省略している場合はすべて「046」です  
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください  
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

新体操をがんばっています!  
 東柏ヶ谷小学校 鈴木 遥さん(10歳)



写真

タイトル：水田に映る新しい海老名  
 撮影場所：河原口付近  
 撮影者：国分南在住 山田博之さん



編集雑記

雑草の新芽を見つけて「春だなあ」と思っていたのもつかの間、木々には明るいグリーンの葉が目立ち始め、気付けばあっという間にふさふさ。情報発信のほかにも風景の記録を担う広報業務は季節を感じやすい仕事です。歳を重ねるごとに四季の変化が尊んなくなってきました。私もすっかりお年頃、です。(あ)



時にはオアシス運動の看板を青指連の仲間と補修すること

青健連で、大谷ネットコンフレックルに向けて子どもたちの芸術作品を選考

「共存共栄」でもっと豊かに

「ただ共に存在するだけじゃなく、共に高め合っていきたい。人と人も、人と虫と野菜も」と、共存共栄をモットーに農業や地域活動を楽しむ三部さん。その言葉からは、支え合いと尊重を大切にしているのがにじみます。子どもと地域がもっと豊かになることを思い描き、通学路でのあいさつ運動や地元の稲わらで作る正月飾りの指導、郷土芸能を継承したい思いから始めたさら踊りなど、積極的に地域に関わっています。「なかなかあいさつができない子でも、ちょっと声を掛けるとあいさつを返してくれるようになるんです。私の畑に遊びに来てくれる子どもたちも、育てた野菜も、成長を感じられたときが本当にうれしい。活動のエネルギーと生きる喜びになっています」と、笑顔で話します。「地域や子どもたちが元気になると、自分も元気になる」という三部さん。放つ光は、地域と周囲の人々を明るく彩ります。

今月のえび人

三部孝子さん  
 (大谷北在住・49歳)

約10年前に都内から移住し、農業やなるべく化学肥料を使わない野菜作りを実践。青少年指導員連絡協議会(=青指連)、青少年健全育成連絡協議会(=青健連)では立哨活動などに取り組む。